

第 12 回帯広市産業振興会議 議事録要旨

平成 23 年 2 月 9 日（水）16:00～18:00

市庁舎 10 階 第 6 会議室

1、開会

2、会長挨拶 曾我会長

3、議事

（1）産業振興会議のあり方について

- ・事務局から、産業振興会議のあり方について資料に基づき説明があり、これまでの会議での意見等を参考に、今後の方向性について各委員から意見をいただきたいこと、欠席委員及びこの場で発言がない委員についても、資料の論点記入シートを参考に意見を集め、次回協議したい旨発言があった。以下は各委員の発言要旨。

（委員）

振興ビジョンの推進についてチェックをするということで参加させていただいていたが市としてはどうなのか。有効になっているのか、逆に形を変えなければいけないと思っているのか。

（事務局）

貴重な時間をどのように有効に使ったらいいか、皆様のご意見をどのような形で反映させたらいいかということ、もう一度考えてみたいところからこの2年間について委員の皆様がどのような考えをもっているのかを聞きたいというのが趣旨。

（委員）

率直な感想からすると、間があいて会議に参加していると記憶が断片的になりその場その場での意見となってしまう、しっかりと議論ができているのか心配になる。五里霧中でこれで良いのかという気持ちはある。

（委員）

最初の段階で見切り発車のような感じで走り出した感はある。これまで部会で専門性の高い方が作ったものを短い限られた時間のなかで経緯や思いを理解しないで意見をしているのか。自分がどういう役割で意見を言えばいいのか毎回とまどっていた。意見交換会だけでは話がすすまない、事前にそれぞれの委員がアイデアを考えてから議論したほうがいいのではないか。

（委員）

市の振興会議のあり方が腰が据わっていなかった。産業政策の中心に据えるとは言っていたがそうではなかったのではないか。フードバレーとかち推進プランを作る上で、なぜ

産業振興会議の意見を聞かないのか。市長が参加しないのもそう。産業振興会議の役割としてビジョンの進捗管理は必要である。そのほかにもビジョン事業の具体的な取組の話題その時々、TPP やフードバレーなど熱い話題を論議して、意識を一致させたり解決策を考えていく場にするべきだと思う。住宅リフォームの助成が他の自治体で広がってきていて建設業を中心に経済波及効果が大きいと聞いているので提案したいと思っているが、部局が違うので、この場でも提案できるような環境にしていきたい。

（委員）

P D C Aのチェックの部分については一定程度の意義があると思うが、プランにどう関わられるかが大きな課題になってくると思う。ただP D C A全てに関わってやることは難しいためどの役割を担うのか、選択と集中が必要になる。会議でチェックをした後に次のアクションをどのようにつなげるかの議論ができれば意義のあるものになるのではないかと。

（委員）

当初より、振興会議とはどのような役割を担ったものなのかと、思い悩みながら参加していた。やはり進捗管理だけでは、会議の期待される役割を果たせないのではないかと。議論の過程では、工程表の修正・改善案が出てきて然るべきと思っていたが、実際にはそうしたことも少なかった。一方で、小委員会での議論に参画できたこと、「とかちむら」等の新規施策について理解を深め、意見を述べる機会を得たことは有意義だった。いずれにしても、進捗管理のほかにもやらなければいけないことはまだまだあるし、見直し余地もあるように思う。結局は、設置目的にある「（２）その他中小企業振興及び地域産業振興等に関すること」という点が、今後大事になってくるのではないかと感じている。

（委員）

チェックは必要だが、２年間経つとやはり状況がいろいろ変わってくるため、修正なり追加なりが必要になってくると思うしそういう時期になっているのではないかと。ビジョンを作った後に、市長が変わって総合特区の申請があったということ踏まえて、何を議論して何を提言していくのかということは、設置要綱にあるように中小企業と協働で組み立てていくという原点に戻って議論していけばよいのではないかと。進捗管理だけを行うのであれば必要性がないかと思う。

（委員）

初めの頃に比べると話しやすい雰囲気になったかと思う。工程表だけでは具体的な中身がわからないため、発信の仕方の工夫は必要だと思う。多様な機関の方が委員になっているので忌憚りの無い意見ができれば参考になるものが出てくると思うが、あとは事務局側がどこまで深さを求めているかで会議の役割は変わってくるのではないかと。明確にしていだかないと答えようもないかと。小委員会の報告は有益であり勉強になったため、オブザーバーとしてでも参加できる環境があれば良いかと思う。

(委員)

施策というのは全国各地で出てくるもので新しいものを取り入れてやっていきたいという話はあったと思う。進捗管理だけをやるのは面白くない。進捗管理のノウハウができてなかったのも1つの要因。フードバレーは十勝全体の議論であり、産業振興会議のメンバーでとりあげるのがいいのかどうかに留意する必要がある。また、農業者の委員が1人ということも。推進プランにあるフードバレー推進会議に産業振興会議の立場から参画していくような形をとれたらいいかと思っている。条例の中では市の責務ではなく市長の責務となっているのでぜひこの場にきて総括と来期に向けてどう思っているのか思いの丈を最後の会議でも話していただけたら。フードバレーや中小企業振興がひとつの部署で終わってしまってはならないので、行政全てをあげて作っていくという、市側の組織のあり方も検討していただければと思う。

(委員)

プランニングについての意見交換ができるような場であればいいのかなという期待はもっていた。実際に事業をやって具体的な成果がどうだったのかというのは見えにくいので、基本となるところに突込んで議論ができるような会議であったほうがよい。市側もこのままでいいのかという思いでこういう場面になったのかと思うが、市の方ではどのように考えているかを聞いてみたいところである。

(事務局)

特定の課題が出たときは小委員会を設置して深掘りをしていただくようなイメージをしているがいずれにしても事務局内でも議論はしたいと思っている。

(委員)

P D C Aのチェックを行うのが面白くない理由であったかと思う。このままであればだんだん出席者も減っていくと思う。議会もチェックを行うが議会と重複しないように、産業振興会議はどういうことをやれば良く、効果があるのか原点に立ち返り。チェックだけでは苦痛になる。

4、報告事項

(1) とかち帯広空港のダブルトラッキング化について

(2) 帯広市ホームページのリニューアルについて

(3) フードバレーとかち推進プランについて

・事務局から、(1)～(3)のそれぞれについて資料に基づき説明があった。

5、その他

(1) T P Pをめぐる話題提供

・板谷委員から資料に基づき説明があった。

6、閉会